

独自の原料配合ノウハウで高品質な再生ポリエチレンフィルムを提供

宇陀化成工業株式会社 奈良県宇陀市

高品質な再生ポリエチレンフィルム製造技術で注目を集める『宇陀化成工業株式会社』。創業者で現会長の栗林道治氏（61歳）は廃プラスチック処理が将来社会問題になると予見し、1985年の創業時から再生原料の活用にこだわり続けた。

地道な研究を重ね、現在、産業資材用ポリエチレンシート（建材保護用、製品梱包用、工場の床に敷く養生シートなど）やゴミ袋などを再生原料100%でリサイクル生産している。



リサイクル製品の一般的な製造工程

再生原料の元となるのは、地道に信頼関係を築いてきた全国10数社の仕入先で発生するプラスチック製品成形時のバリ（はみ出した余分な部分）やロス品など。この独自の仕入れルートが月産230トンもの同社の生産能力を支える。再生フィルムという品目では全国有数の生産量だという。

競争力の源は、用途に応じ再生原料を最低でも6、7種類以上配合し、製品の品質をコンスタントに安定させる独自のノウハウ。一般にリサイク

ル原料はバージン原料（新しい原料）に比べ粗悪でコストが高いというイメージがあるが、たしかに透明性は若干落ちるものの、強度は前述の原料配合技術により十分確保できコストもバージン原料より安く製造可能だ。



同社製品の一部。オーダーメイド品も数多く手掛けている。

「他社が断った難問でも申し出を受けた仕事はすべて請け負う」方針の同社では、工場の稼働率を7割程度に抑え、残りの3割の余裕で突発的な受注対応や新技術の研究開発に取り組んでいる。

こうした技術力や迅速な対応が評価され、ANAや佐川急便、全国各自治体など大口取引先からの信頼も厚く、現在の販売先は約250社に達する。これらのほぼすべてが既存顧客の紹介や先方からの問合せで取引が始まっており、「営業はまったくしていないが問合せは絶えない」のだという。

今年4月には息子の栗林浩二氏（30歳）にあえて早めに社長職を承継。リサイクル原料を使う商品という考え方そのものの提案に今後注力する方針の浩二社長は、「現状に安住せず常に危機感を持って攻めの姿勢で取り組みたい」と語る。

（吉村 謙一）



宇陀化成工業株式会社

〒633-0242 奈良県宇陀市榛原篠築 117-1
TEL: 0745-85-3001 FAX: 0745-85-3002
URL: <http://www.udakasei.co.jp/>